

参加費
無料

ICTを活用した 地域の情報連携説明会

日程 2023年6月21日（水）

時間 受付：13:00～ 講演：13:30-15:00

場所 山口県社会福祉会館 3階「第1会議室」

〒753-0072 山口県山口市大手町9-6

セミナー内容

Chatworkサービスの案内と使い方の説明会を実施します。導入を希望される方は、その場で、設定方法のサポートを実施させていただきますので、この機会にぜひご参加ください。

本協議会では、コミュニケーションの生産性向上を後押しするため「Chatwork」を導入しました。

これまでメール・FAX・紙で行っていた会員への情報発信の効率化はもちろん、質問チャットなどの双方向のコミュニケーションを実現することを想定しています。

またChatworkを会員事業所内の業務で利用することで、地域事業者とのケアの情報共有の効率化、社内の電話・FAX、申し送りノート無くすことができ、業務時間をよりご利用者様へのケアへ充てることができます。

【申込方法】

デイ協ホームページ (<https://yg-daykyo.jp/>)
または、QRコードより「申込フォーム」に必要事項を入力の上、お申込みください。



【問い合わせ先】

協議会 事務局
担当：立石、嶋谷
TEL：083-924-2799

Chatworkで業務改革を実現

いま、介護の現場において「電話やメール、FAXよりも便利な連絡ツール」として、Chatworkが注目されています。

施設間の情報共有や地域事業者との情報連携をスムーズにおこなうことができ、介護現場の生産性を大幅にアップします。

Chatworkでできること

- ✓ 地域事業者との情報連携がスムーズになり
ケアの質が向上します！
- ✓ サービス担当者会議のオンライン化やスケジュール調整が
すべてスマートフォンで完結します！
- ✓ BCPの安否確認や委員会の連絡ツールとしても活用できます
- ✓ 機密性の高い情報共有が安心安全に実現できます！

Chatworkの特長



カンタン操作

シンプルな画面で使いやすい！電話やメールよりも素早く連絡できます。



安心のセキュリティ

暗号化された安全な通信方式で、セキュリティも万全！安心して利用できます。



無料で使える

無料ではじめられるので、気軽に使い勝手を試すことが可能です。

介護事業者選ばれているコミュニケーションツール

● Chatworkが選ばれる理由



SCC大阪
代表取締役
五島広文 様

1時間あたりの生産性が**1,615→3,121円**に
転記作業が激減して**加算申請の効率化**



<https://bit.ly/miraicw1>



株式会社礎
統括
池田真之 様

人材獲得や定着に効果！職種・事業所間の
連携が強化され**早期退職率が7%以下に**
介護報酬加算の証拠（エビデンス）にも



<https://bit.ly/miraicw2>



株式会社マロー・サウンズ・カンパニー
代表取締役社長
田中 紘太 様

介護業界の**多職種連携におけるコミュニ**
ケーション課題をChatworkで解決



<https://bit.ly/miraicw3>



株式会社オーバー
代表取締役社長
宮川 拓也様

音声録音も駆使し、スタッフ1人あたりの
稼働コストは約2時間/日削減！



<https://bit.ly/miraicw4>

Chatworkで業務改革を実現

いま、医療の現場において「電話やメール、FAXよりも便利な連絡ツール」として、Chatworkが注目されています。

施設間の情報共有や地域事業者との情報連携をスムーズにおこなうことができ、地域医療の生産性を大幅にアップします。

Chatworkでできること

- ✓ 地域事業者との情報連携がスムーズになり医療の質が向上します！
- ✓ 院内のタイムリーな情報共有や外出先でも的確な指示出しができます！
- ✓ BCPの安否確認や委員会の連絡ツールとしても活用できます
- ✓ 機密性の高い情報共有が安心安全に実現できます！

Chatworkの特長



カンタン操作

シンプルな画面で使いやすい！電話やメールよりも素早く連絡できます。



安心のセキュリティ

暗号化された安全な通信方式で、セキュリティも万全！安心して利用できます。



無料で使える

無料ではじめるので、気軽に使い勝手を試すことが可能です。

医療事業者選ばれているコミュニケーションツール

● Chatworkが選ばれる理由

ICT化で情報共有が劇的に改善し、地域医療に貢献する機会が増えました

医療法人社団 緑和会

掛川東病院 介護老人保健施設 桔梗の丘



病院長
宮地 紘樹 様

課題

- 地域連携で情報共有ツールが根づいていない状況
- 訪問診療や医療現場で、FAXや電話での情報共有は非効率
- 多職種から医師に電話で確認するハードルが高い

効果

- ICT化で、地域医療に貢献できる機会が増えた
- 全体の電話件数が大幅に減り、情報共有を効率化
- 移動時間に緊急性のない業務をこなせて、生産性が3割ほど上がった



<https://bit.ly/miraicw6>

病院内のコロナ対応に真価を発揮！通常1ヶ月→2週間で収束に成功

医療法人 中津第一病院
Nakatsu Daiichi Hospital



法人副理事長 兼法人本部長
久下 充子 様

課題

- 情報共有を効率化するためイントラネットの構築を考えていたが停滞していた
- 電話、メール、FAXでのやりとりに課題があった
- コロナ対応など緊急時の情報量や共有スピードに課題があった

効果

- デジタルに不慣れなスタッフでも問題なく使用でき、院内の情報共有の効率UP
- 電話、メール、FAXの課題がChatworkで解消
- 情報対応がスムーズになり、クラスター発生における収束期間が半減



<https://bit.ly/miraicw5>

訪問看護の現場でChatworkが活躍！残業時間の削減や報告漏れの防止に

キョーワグループ



ステーション責任者
藤川 勝章 様

課題

- 管理者とスタッフ間のコミュニケーションが不足
- 紙カルテを訪問看護で持ち出すのはセキュリティ面でリスクがあった
- 診療報酬加算の報告の抜け漏れが目立っていた

効果

- シフト調整対応などが迅速になるなど"助け合い文化"が強まった
- 紙と比べてセキュリティが強固になった
- 過去の記録を参照しやすくなり、診療報酬加算の抜け漏れが減少



<https://bit.ly/miraicw7>